

Feature

サプライチェーンにおけるリスク対応



調達



生産



物流



販売・マーケティング

事業継続リスク対策の策定と運用※1				
これまでの取り組み	- 調達の安定化を目的に部材サプライヤーのBCP策定を促進、支援 - 部材在庫の確保	- 生産能力の増強 - 生産性改善活動「smart.E」を推進し、ボーダレス生産体制構築を目指した取り組みを実施 - これまでの感染症発生事案に基づくマスクなど感染対策品の備蓄	- 自社開発の倉庫システム導入により、倉庫管理業務の効率化と省人化 - 脱炭素思想に基づき、航空便と船便の最適バランス検討と実施	商談は対面での面談をベースとした上で、お客様のニーズを満たす柔軟な対応を実施
	人流、物流の停滞による部材の供給逼迫	- 人流の制限による稼働への影響 - 行政指示による稼働制限 - 生産現場での感染者発生により生産が休止 - 労働者の確保の難化	- 国際線航空便数の減少や、海上輸送用コンテナ不足による国際的な輸送能力不足 - 輸送の不安定化 - 輸送リードタイムの長期化 - 輸送コストの高騰	各地域の外出制限と海外渡航規制に伴い、顧客訪問や展示会開催が中止されるなど、対面での商談機会減少により販売活動が制限
事業継続対策委員会を組織し全社情報の集約と対策検討・指示※2				
対応事例	各国制限を把握し、部材供給影響の早期確認を実施	- 徹底した感染予防対策による生産活動継続 - 従業員の日々の健康管理 3密対策 - 手や指および物に対する消毒 - smart.Eの継続推進	- 物流不安定化に対する対策強化 - 代替物流ルートの確保 - 複数輸送手段の確保	- テレワーク可能な環境整備とオフィスへの出勤制限により従業員の安全確保 - オンラインミーティングなどを活用することにより社内および顧客とのコミュニケーションを平時と同レベルに維持
	複数調達ルートの確保と強化	より安定した供給を実施するための在庫体制の見直しと再設計	- 物流管理体制の強化 - 物流業者との連携強化	営業部門のリスク管理基準の見直しと強化
強化している取り組み				

※1「グループ事業継続対策規定」「太陽誘電グループ新型コロナウイルス対応計画＜感染予防対策＞」の策定・運用、および、事業継続のための教育訓練の計画的実施（緊急連絡、初動対応、復旧訓練など）

※2・日々および週次レポートを発行し、各拠点政府の施策、地域の感染状況および拠点対策などの情報共有化を実施
・「働き方ガイドライン」を作成し、全拠点へ対応指示して感染防止対策を徹底